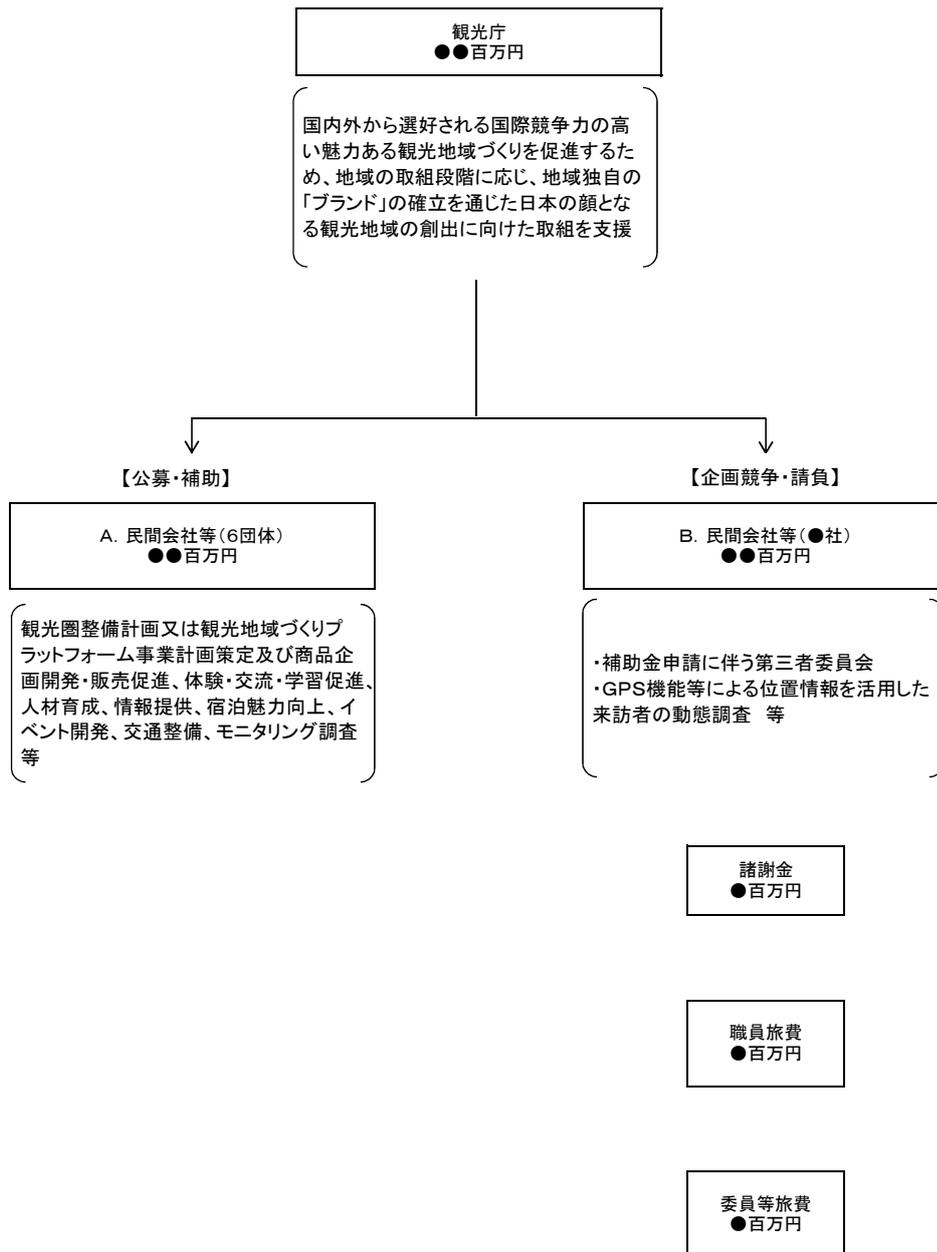


平成25年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	観光地域ブランド確立支援事業		担当部局	観光庁	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	H25～		担当課室	観光地域振興課	課長 川瀧 弘之			
会計区分	一般会計		政策・施策名	6 国際競争力、観光交流、広域・地域間連携等の確保・強化 20 観光立国を推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	観光立国推進基本計画 第12条～第14条		関係する計画、通知等	観光立国推進基本計画				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	我が国の人口減少が進み、観光客獲得の国際的競争が激化する中、国内外から選好される国際競争力の高い魅力ある観光地域づくりを促進するため、歴史・伝統・文化等を活かした地域独自の「ブランド」の確立を通じ、日本の顔となる観光地域を創出することで、観光地域づくりの取組の効果を最大限に発揮する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	交流人口拡大による地域の活性化を実現するため、地域独自の「ブランド」の確立を通じた日本の顔となる観光地域の創出に向け、地域の取組段階に応じて以下の支援を実施する。 ①目指すべき地域の将来像の策定、マーケティングの実施等を通じたブランド戦略の構築。(定額) ②ブランド戦略に基づき、来訪者の豊かな旅行を支える応接環境の整備、取組の恒常的実施・改善を通じたブランド管理、地域資源の価値を最大限に活かした空間の形成等の実施。(1/2補助) また、対象地域等において、GPS機能等により蓄積される「位置情報」等を活用した観光客の行動・動態等の調査・分析を実施し、今後の取組への活用方法の検討を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算の状況	当初予算				343	279	
		繰越し等						
		計				343	279	
	執行額							
執行率(%)								
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	126訪日外国人旅行者数		成果実績 達成度	万人			集計中	1,800
	127国内観光旅行による国民一人当たり年間宿泊者数		成果実績 達成度	泊			集計中	2.5
	129国内における観光旅行消費額		成果実績 達成度	兆円			集計中	30
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	採択件数/申請件数		活動実績 (当初見込み)	箇所	-	-	-	() (6)
単位当たりコスト	観光地域ブランド確立基盤づくり支援 5,000,000(円/件) 観光地域ブランド確立支援 12,362,830(円/件)		算出根拠	観光地域ブランド基盤づくり支援交付額5,000,000円÷採択件数1件 観光地域ブランド確立支援交付額61,814,152円÷採択件数5件				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	576	262					
	職員旅費	3,872	4,621					
	委員等旅費	660	100					
	観光振興調査費	117,748	67,017					
	観光圏整備事業費補助金	220,000	207,000					
	計	342,856	279,000					

事業所管部局による点検							
	項目	評価	評価に関する説明				
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	「ブランド」の確立を通じて国際競争力の高い魅力ある観光地域づくりを促進することは、地域経済の活性化や地域における雇用の維持・創出をもたらす社会的ニーズが高いものである。また、先進的な取組かつ全国レベルの位置付けの中で行われるものであることから、国の関与が必要である。				
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○					
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○					
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	—	採択前のヒアリングにより、事業目的のために必要な経費のみが計上されているか確認するとともに、第三者委員会を通じて必要に応じて事業の改善・組替え等を求めた上で採択を行っている。				
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○					
	単位当たりコストの水準は妥当か。	—					
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—					
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○					
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	—						
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	—					
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	—					
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	—					
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	—					
	事業番号	類似事業名				所管府省・部局名	
点検結果	近年、観光地域は国内外の旅行者獲得競争に晒されており、宿泊数等も減少傾向にあるなど厳しい環境にある。観光地域は、観光地域づくりの理念やその実現のための戦略が十分明確になっていない等により、地域資源の潜在能力を活かしきれておらず、多様な日本の魅力を発揮できていない。そのため、日本を代表する有形・無形の地域資源がある観光地域において、他地域と差別化された価値や魅力を戦略的に創出・提供することにより、日本の顔となる「ブランド」を確立していくことが、国内外から選好される観光地域を形成するために極めて重要である。このため、事業目的達成に向け適正な予算執行を実施する。						
外部有識者の所見							
行政事業レビュー推進チームの所見							
第三者委員会の評価を踏まえるなど、支援対象の選定過程の透明性・競争性の確保について適切であり、引き続き効果的・効率的な執行に努めるべき							
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況							
引き続き効果的・効率的な執行に努める							
備考							
関連する過去のレビューシートの事業番号							
	平成22年		平成23年		平成24年		

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)